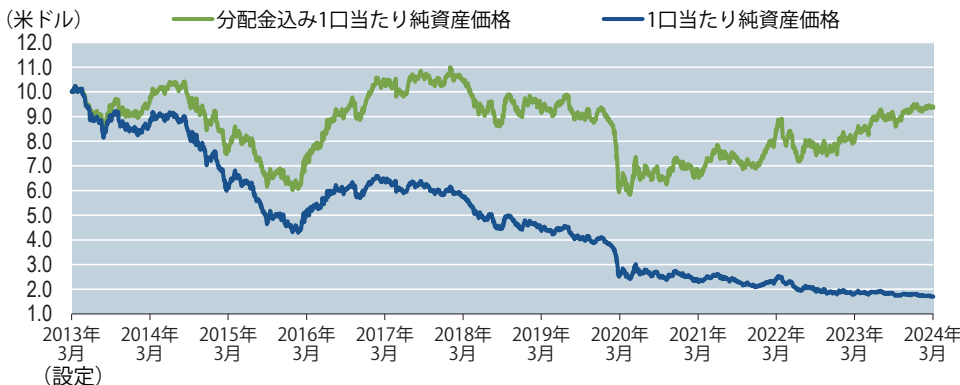


ブラジルリアルクラス

1口当たり純資産価格	1.70米ドル
純資産総額	0.9百万米ドル

設定日	2013年3月27日
分配日	原則として毎月15日

1口当たり純資産価格推移：(2013年3月27日(設定日)～2024年3月28日)



期間別騰落率(税引前分配金再投資ベース)：

(%)	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	0.00	-1.10	5.18	12.59	39.96	0.69	-6.48

※1口当たり純資産価格は、ファンドの運営管理費用等の控除後の値です。  
※分配金込み1口当たり純資産価格は、税引前分配金を再投資したものと計算した値です。

分配金実績(米ドル、1口当たり)税引き前(過去12ヶ月)：

期間	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月
分配金	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
設定来累計	131ヶ月		7.01米ドル									

米ドルクラス

1口当たり純資産価格	6.74米ドル
純資産総額	11.6百万米ドル

設定日	2013年3月27日
分配日	原則として毎月15日

1口当たり純資産価格推移：(2013年3月27日(設定日)～2024年3月28日)



期間別騰落率(税引前分配金再投資ベース)：

(%)	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	0.59	1.19	3.02	5.82	3.38	4.99	12.17

※1口当たり純資産価格は、ファンドの運営管理費用等の控除後の値です。  
※分配金込み1口当たり純資産価格は、税引前分配金を再投資したものと計算した値です。

分配金実績(米ドル、1口当たり)税引き前(過去12ヶ月)：

期間	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月
分配金	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
設定来累計	131ヶ月		4.17米ドル									

出所：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン、ウエスタン・アセット  
過去の成績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

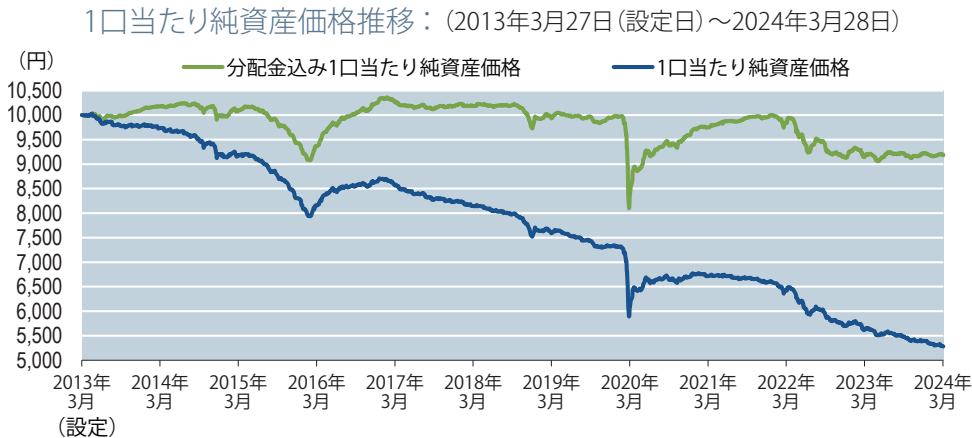
※当資料に関する重要な事項について、巻末の注記を必ずご確認ください。

WA バンクローン・ファンド(マルチ・カレンシー型)



円クラス

1口当たり純資産価格	5,281円
純資産総額	5.5億円
設定日	2013年3月27日
分配日	原則として毎月15日



期間別騰落率(税引前分配金再投資ベース)：

(%)	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	0.00	-0.48	-0.22	-0.13	-5.86	-7.64	-8.20

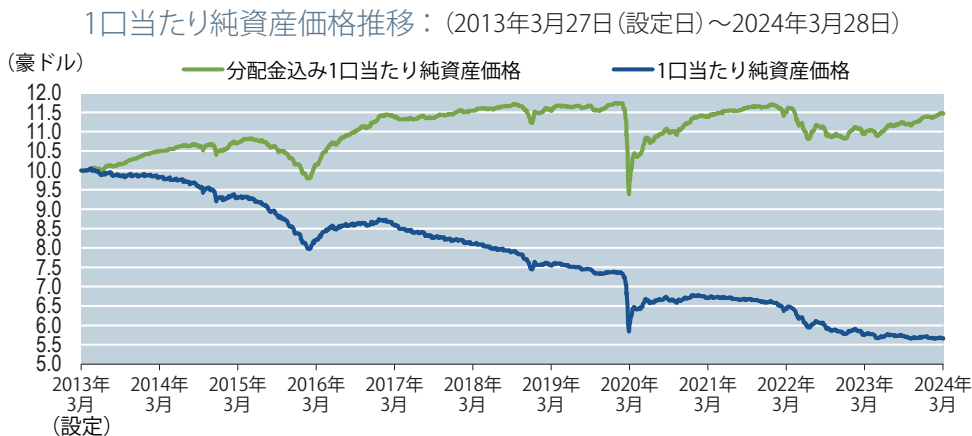
※1口当たり純資産価格は、ファンドの運営管理費用等の控除後の値です。  
 ※分配金込み1口当たり純資産価格は、税引前分配金を再投資したものと計算した値です。

分配金実績(円、1口当たり)税引き前(過去12ヶ月)：

期間	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月
分配金	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
設定来累計	131ヶ月		4,170円									

豪ドルクラス

1口当たり純資産価格	5.66豪ドル
純資産総額	5.2百万豪ドル
設定日	2013年3月27日
分配日	原則として毎月15日



期間別騰落率(税引前分配金再投資ベース)：

(%)	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	0.35	0.71	2.31	4.29	0.55	-0.66	14.60

※1口当たり純資産価格は、ファンドの運営管理費用等の控除後の値です。  
 ※分配金込み1口当たり純資産価格は、税引前分配金を再投資したものと計算した値です。

分配金実績(豪ドル、1口当たり)税引き前(過去12ヶ月)：

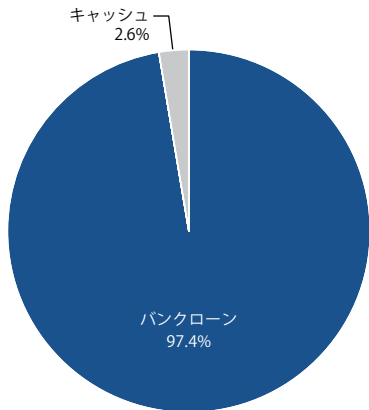
期間	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月
分配金	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
設定来累計	131ヶ月		5.55豪ドル									

出所：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン、ウエスタン・アセット  
 過去の成績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

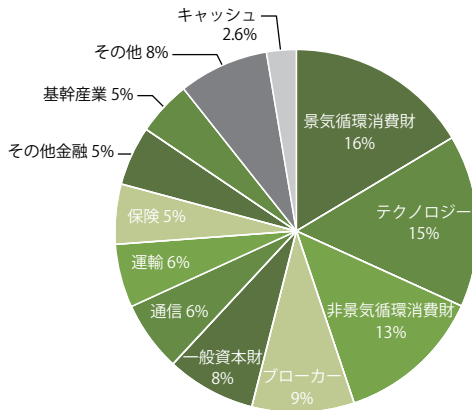
※当資料に関する重要な事項について、巻末の注記を必ずご確認ください。

ポートフォリオ特性

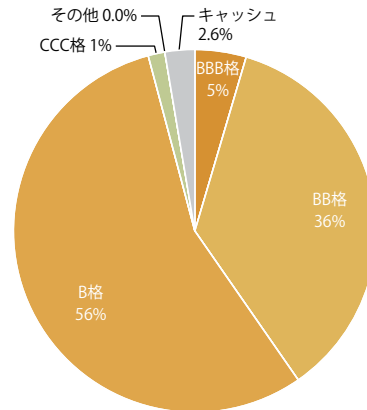
資産別構成比率 (%)



業種別構成比率 (%)



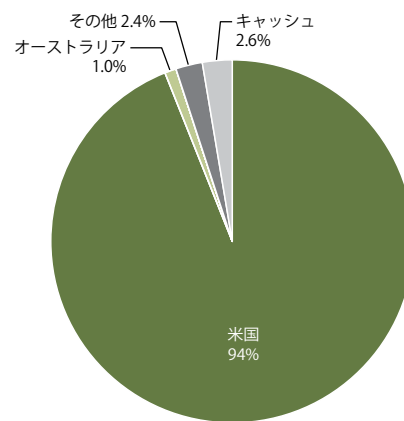
格付け別構成比率 (%)



ポートフォリオの状況

平均利回り:	8.22%
平均残存年数:	2.36年
平均デュレーション:	-0.03年
平均格付け:	BB-
銘柄数:	143

国別構成比率 (%)



※平均利回り：バンクローンについては満期保有利回り、社債については発行体による期限前償還等を考慮した最終利回りで計算しています。  
 ※平均格付けとは、データ基準日時点で当ファンドが保有している有価証券などに係る信用格付けを加重平均したものであり、当ファンドに係る信用格付けではありません。  
 ※格付けは、スタンダード・アンド・プアーズとムーディーズのうち高い格付けをスタンダード・アンド・プアーズの表記方法で記載しています。格付けの表示は売買の勧誘を意図するものではありません。格付けは格付け業者による主観的な意見を符号で示したものであり、その客観性および完全性は必ずしも保証されていません。  
 ※各円グラフの構成比率は、当ファンドの純資産総額比です。  
 ※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

出所：ウエスタン・アセット

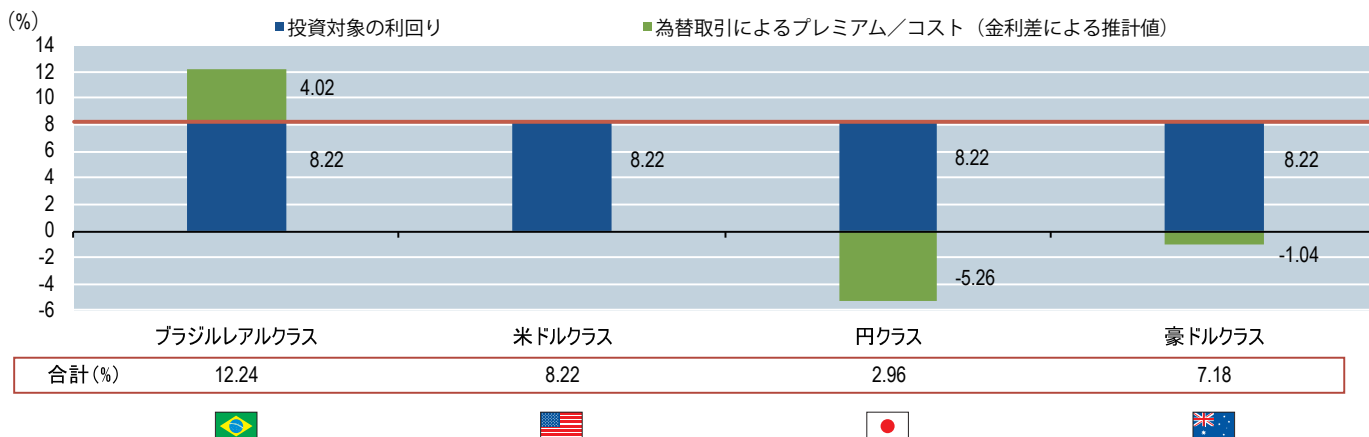
上位10銘柄

	銘柄	証券種別	業種	通貨	国名	償還日	格付け	組入れ比率
1	ATHENAHEALTH INC ATHENA TL 1L USD	バンクローン	テクノロジー	USD	米国	2029/ 2	B	1.32%
2	POLARIS NEWCO LLC SLH TL B 1L USD	バンクローン	テクノロジー	USD	米国	2028/ 6	B	1.26%
3	H.B. FULLER CO FUL TL B 1L USD	バンクローン	基幹産業	USD	米国	2030/ 2	BB+	1.26%
4	MEDLINE BORROWER LP MEDIND TL B 1L USD	バンクローン	非景気循環消費財	USD	米国	2028/10	B+	1.26%
5	STATION CASINOS LLC RRR TL B 1L USD	バンクローン	景気循環消費財	USD	米国	2031/ 3	BB+	1.26%
6	INEOS US PETROCHEM LLC STYRO TL B 1L USD	バンクローン	基幹産業	USD	米国	2029/ 3	BB	1.26%
7	PRAIRIE ECI ACQUIROR LP TGE TL 1L USD	バンクローン	エネルギー	USD	米国	2029/ 8	B	1.25%
8	BLACKSTONE MORTGAGE TR BXMT TL B1 1L USD	バンクローン	REIT	USD	米国	2026/ 4	BB-	1.25%
9	MH SUB I LLC INET TL B3 1L USD	バンクローン	通信	USD	米国	2028/ 5	B+	1.25%
10	HEXION INC HXN TL 1L USD	バンクローン	基幹産業	USD	米国	2029/ 3	B	1.25%

出所：ウエスタン・アセット、ブルームバーグ  
 ※上記はデータ基準日時点の上位保有銘柄であり、将来の組入れをお約束するものでも、個別銘柄の売買を推奨するものでもありません。  
 ※格付けは、スタンダード・アンド・プアーズとムーディーズのうち高い格付けをスタンダード・アンド・プアーズの表記方法で記載しています。格付けの表示は売買の勧誘を意図するものではありません。  
 ※格付けは格付け業者による主観的な意見を符号で示したものであり、その客観性および完全性は必ずしも保証されていません。  
 ※組入れ比率は、当ファンドの純資産総額比です。

※当資料に関する重要な事項について、巻末の注記を必ずご確認ください。

為替取引後の期待利回り水準 (イメージ図)



出所：ウエスタン・アセット、ブルームバーグ

※上記のグラフは、当該ファンドのデータ基準日時点の平均利回り、為替取引によるプレミアム/コストを各通貨の短期金利より推計した理論値を積算したものであり、為替の市場変動を一切考慮していません。したがって、各通貨クラスの将来の結果を示唆あるいは保証するものではありません。

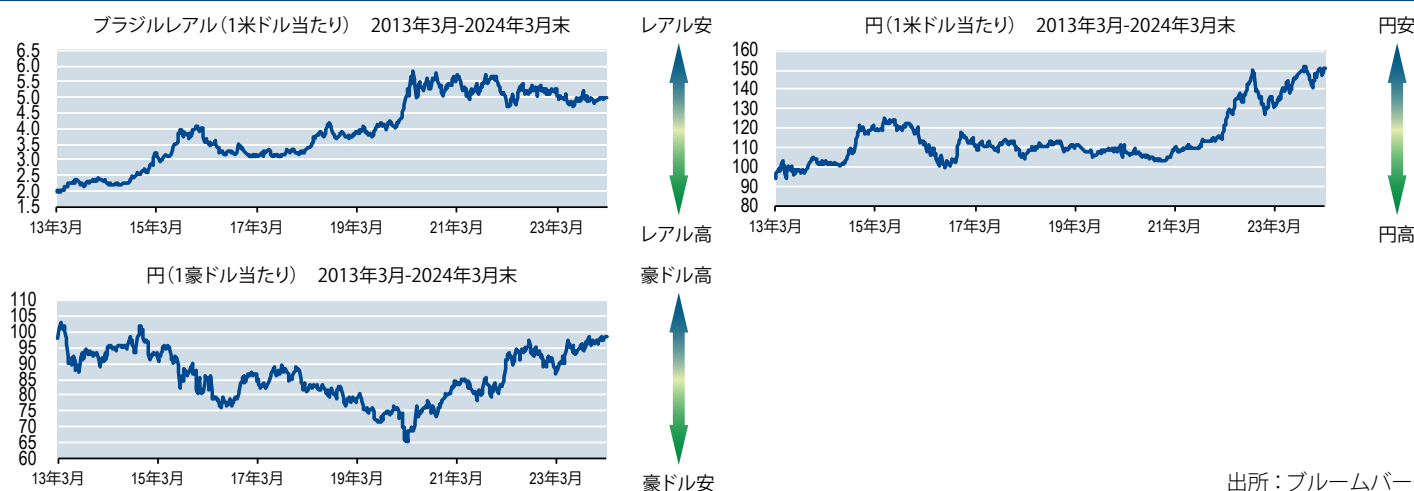
※実際の運用では為替の市場変動による影響を大きく受ける可能性があり、さらに金利水準や取引コスト、取引手法などにより上記為替取引によるプレミアム/コストから乖離する場合があります。

※投資対象の平均利回りは、バンクローンについては満期保有利回り、社債については発行体による期限前償還等を考慮した最終利回りで計算。

※上記では為替取引コストやファンド運用に係る費用等を考慮していません。

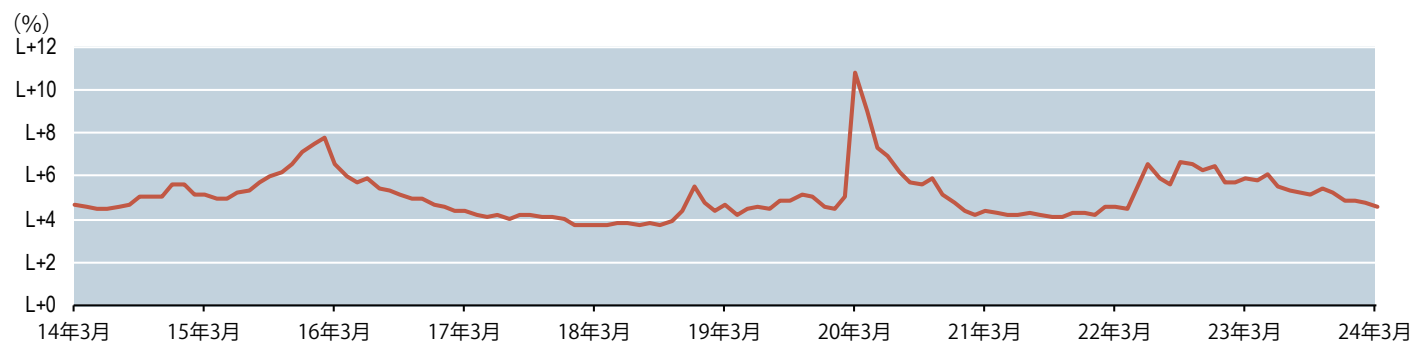
※金利変動や為替の市場変動により、上記の期待利回りとは大きく乖離した結果となる場合があります。

為替レートの推移 (週次)



出所：ブルームバーグ

米国バンクローンの3年平均ディスカウント・スプレッド



出所：Morningstar LSTA

LはLIBORを指します。

米国バンクローン：Morningstar LSTA米国レバレッジド・ローン・トータル・リターン(米ドル建て)インデックス

※上記は過去の指数の実績であり、当ファンドの実績ではなく、また将来の結果を保証するものではありません。

※当資料に関する重要な事項について、巻末の注記を必ずご確認ください。

運用チームのコメント (1/2)

【市場レビュー】

3月のMorningstar LSTA/パフォーミング・ローン・インデックスのリターンは00.87%、過去1年のリターンは12.85%となった。

2024年3月、米連邦準備制度理事会(FRB)のメンバーの発言からはFRBがこれまで通り忍耐強く慎重な対応を行う意向であることが示され、FRBは、利下げの条件はインフレ目標の達成に向けてより確信が強まることだと強調した。インフレは過去1年間でかなり和らいだが、市場では、そうした減速の動きが止まったのではないかと懸念が高まっている。経済の底堅さを示す兆候が幅広く見られたことがリスク資産の支援材料となり、クレジット・スプレッドは縮小し、S&P500種株価指数は再び史上最高値を更新して月を終えた。米国債利回りは幅広いレンジで推移したが、最終的には低下して月を終えた。

米国では、雇用およびインフレ関連データは強弱が混在する結果となった。雇用関連データは過去数か月と比べて軟化した。2月の非農業部門雇用者数は27万5,000人増と、市場予想の20万人増を上回ったが、過去2か月の数値は合計16万7,000人と下方修正された。失業率は3.7%から3.9%に上昇し、平均時給は前月比0.1%増と市場予想を下回り、前年同月比では4.3%増と横ばいだった。一方、消費者物価指数(CPI)の上昇率は、総合CPI、コアCPIともに引き続き高水準だった。コアCPIの上昇率は前月比0.4%(市場予想は同0.3%)と、2か月連続で市場予想を上回り、年率では3.8%となった。月後半にはFRBがインフレ指標として重視する個人消費支出(PCE)コア価格指数が公表され、上昇率は予想通り前年同月比2.8%と、先月から横ばいだった。

予想通り、米連邦公開市場委員会(FOMC)は3月の会合で、政策金利(FF金利)の誘導目標を5.25%~5.50%と5会合連続で据え置いた。FOMC後の声明では、「インフレ率が持続的に2%に向かっているという確信が深まるまで」利下げを見込んでいないという1月に発信したメッセージを繰り返した。最新の経済見通しによると、FOMCメンバーの予想政策金利見通し(ドットプロット)の中央値に変更はなく、年内に政策利が0.75%引き下げられるとしている。しかし、2025年末の政策金利予想の中央値は3.6%から3.9%に上昇し、長期FF金利予想の中央値も2.5%から2.6%に上昇した。2024年のその他の経済指標についても上方修正され、コアPCEの上昇率は2.4%から2.6%に、実質国内総生産(GDP)成長率は1.4%から2.1%にそれぞれ引き上げられた。

3月のバンクローン市場では、Morningstar LSTA米国レバレッジド・ローン・トータル・リターン(米ドル建て)インデックスの3年ディスカウント・マージンのスプレッドは0.10%縮小し、4.63%となった。同インデックスの最終利回りは低下し、月末時点で9.82%となった。格付け別では、インデックスの0.85%に対し、B格が0.87%、CCC格が1.01%とアウトパフォームした。一方、BBB格が0.77%、BB格が0.80%とアンダーパフォームした。セクター別では、パフォーマンス上位のセクターは素材セクターと非景気循環消費財セクター、下位は通信セクターと保険セクターだった。JPモルガンによると、3月のバンクローンの新規発行総額は1,179億ドル(前月比85%増)、年初来では3,177億ドル(前年同期比352%増)。バンクローンの3月のファンドフローは11億ドルの流入(前月は7億4,300万ドル)、年初来の流入額は28億ドルに拡大した。(前年同期は107億ドルの流出)。

【ポートフォリオレビュー】

以下のポートフォリオのポジショニングが当月の相対パフォーマンスに影響した。

- 格付け配分は小幅プラス寄与。アンダーパフォームしたBB格銘柄の小幅アンダーウエイトが主因。
- セクター配分は小幅マイナス寄与。資本財セクターのアンダーウエイトと保険セクターのオーバーウエイトが主因。
- 銘柄選択は当月最大のプラス寄与。景気循環消費財セクター、非景気循環消費財セクター、テクノロジーセクターの銘柄選択が主因。

※当資料に関する重要な事項について、巻末の注記を必ずご確認ください。



## 運用チームのコメント (2/2)

### 【市場見通しおよび今後の運用方針】

世界的に経済成長が減速し、インフレ率も世界的に総じて低下している。米国と欧州では金融環境が引き締まっているものの、多くの国で製造業およびサービス業の需要が減退し、中国ではデフレ圧力がみられ、世界的なインフレ圧力の緩和につながっている。こうした傾向は、主要中央銀行が長期にわたり景気抑制的な政策を主張し続けていることと相まって、経済成長とインフレを一層抑制していくと思われる。当社は上述のシナリオに基づき、先進国国債利回りは低下基調となり、米ドルは小幅下落すると予想している。とはいえ、予想を上回る米国の経済成長、増大する財政赤字を賄うための米国債の供給増加、各国中銀の目標を上回る水準が続くインフレ率などの要因を背景に、「高金利の長期化」への懸念が浮上しており、市場ボラティリティの上昇局面につながる可能性がある。エマージング債、ハイ・イールド債、バンクローン、MBS(モーゲージ担保証券)の一部などのスプレッド・セクターも魅力的な利回りを提供しているが、クレジット市場はマクロ関連で市場心理の予期せぬ変化や、地政学的動向、中央銀行の過度な引き締めリスクに対しては依然脆弱であるとみている。

バンクローン市場では、10%近い利回りと、ほぼ安定したファンダメンタルズを背景に、有担保変動利付債の需要が供給を上回る可能性がある。スプレッドはインプライド・デフォルト・リスクを上回るプレミアムを提供しており、デフォルト率は昨年と同様、発行体加重ベースで約6~7%、額面加重ベースで2~3%低下すると予想している。金利上昇環境にもかかわらず、最近のファンダメンタルズは多くのセクターで安定しており、現在の利回り水準はデフォルト率を踏まえても補って余りあると考える。過去1年半の間、リテールからの資金流出が逆風となったが、ローン担保証券(CLO)からの緩やかな需要やバンクローンの新規発行額が低水準にあることから、バンクローン市場の需給環境はある程度支えられるであろう。

### 【各通貨市場の概況および見通し】

#### ブラジルリアル

ブラジルリアルは当月、対米ドルで下落した。ブラジルの中央銀行は、政策金利を0.50%引き下げ、10.75%とした。これは8月に始まった緩和サイクルを継続するものだが、ブラジル中銀は今後の経済指標の内容を受けて予想が変更された場合には、政策変更の可能性を残している。2月のインフレ率は4.50%に鈍化し、目標の3%±1.5%の範囲に収まった。

#### 米ドル

米ドルは当月、対円で上昇した。日銀は金融政策の枠組みを変更することを決定し、イールドカーブ・コントロールとマイナス金利政策の終了およびオーバーナイト政策金利の0%~0.1%程度への引き上げ、ETFとREITの新規買い入れの終了、マネタリーベース拡大コミットメントなどを停止した。米国ではインフレ率が予想を上回る3.2%に上昇し、マクロ経済データも好調だった。

#### 豪ドル

豪ドルは当月、対円で上昇した。オーストラリアの中央銀行は政策金利を4.35%に据え置き、ややハト派的な表現になった。オーストラリア中銀は、賃金の伸びはインフレ目標に沿っており、インフレは引き続き緩やかで、消費は依然低迷していると指摘した。

※当資料に関する重要な事項について、巻末の注記を必ずご確認ください。

投資リスク(1/2)

- ・ファンドおよびマスター・ファンドは、その受益証券1口当たり純資産価格が、組み入れられる有価証券等の値動きのほか為替変動による影響を受けて下落または上昇することがある外国投資信託であり、元本保証のない金融商品です(投資信託は預貯金と異なります。)。また、円クラス以外の外貨建てクラスの場合、表示通貨では投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動により、円換算ベースでは投資元本を割り込むことによる損失を被ることがあります。それゆえ、ファンドおよびマスター・ファンドへの投資により、損失を被ることがあり、投資資金のすべてを失うこともあります。ファンドおよびマスター・ファンドへの投資にはリスクが伴い、ファンドおよびマスター・ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。
- ・ファンドおよびマスター・ファンドの主なリスク要因は、次のとおりです。本項「投資リスク」におけるファンドへの言及は、「通貨転換リスク」および「相関関係の欠如のリスク：為替取引リスク」の項目を除き、ファンドおよびマスター・ファンドを意味します。詳細は、請求目論見書の該当箇所をご参照ください。

ローン、ローン・パーティシペーションおよびローン譲渡に係るリスク：	ファンドは、直接的にまたは間接的にローンに対する権益を取得することができます。バンクローンは、容易に市場で売却できないことがあり、転売制限を課されることもあります。ローン取引の将来の需給レベルが十分流動的であるとの保証および市場が今後著しく流動性を欠かないとの保証はありません。当該ローンの所有者は、借り手に関する秘密情報、ローン契約の独自かつカスタマイズされた特徴に関する秘密情報およびローンの非公開シンジケートに関する秘密情報を提供されるため、ローンは、公開取引証券が売買される場合ほど容易には売買されません。
金利リスク：	ファンドは、金利変動リスクを負っています。ファンドの実質的な投資対象の市場価格は金利その他の要因の変動に応じて変動します。金利が上昇するとその価値は下落し、金利が下落するとその価値は上昇する傾向にあります。
信用リスク：	ファンドは、信用リスクを負っています。信用リスクとは、証券の発行体が支払期日に元本・利息のいずれかまたは双方を支払うことができないリスクや、投資者が発行体の支払能力が低下していると判断することにより証券の市場価格に悪影響が生じるリスク等をいいます。発行体の財務体質および支払能力は、信用リスクに影響を与える主な要因となります。さらに、確定利付商品の担保または信用補完について、劣後性があること、不足があることまたは不備があることにより、その信用リスクに影響を与えます。
通貨転換リスク：	投資運用会社は、(i)マスター・ファンドのレベルで、米ドル建てではない投資対象バンクローンについては基準通貨である米ドルに対しヘッジ取引を行うことを予定しています。また、(ii)ファンドのレベルで、各クラスにおいては、それぞれ為替先渡契約等の方法を利用して一定の為替取引手法を用いることにより、基準通貨の為替エクスポージャーを各クラス通貨ごとのエクスポージャーに転換することを予定しています。為替取引を行っているクラスに投資している投資者は、各クラス通貨と基準通貨間の交換にかかるリスクと費用を負担します。
相関関係の欠如のリスク： 為替取引リスク：	投資運用会社がファンドについて為替取引戦略を採用する場合、為替取引戦略の成功は、投資運用会社が為替取引戦略で利用される商品のパフォーマンスと為替取引される投資対象のパフォーマンスの相関関係の程度を正確に評価する能力にある程度依拠します。  一般的なヘッジ戦略は、通常、投資リスクを限定し、または軽減することを目的としていますが、同時に利益が生じる可能性も限定され、または軽減されることが予想されます。
低格付および無格付証券リスク：	低格付および無格付証券には、発行体の財政状態もしくは景気全般の不利益な変動(例えば、収益が減少している相当な期間を含みます。)またはこれらの両方により発行体の元利金の支払能力が毀損する可能性があります。このような証券は、債務不履行を生じることがあります。一部の低格付証券は、格付機関によって実質的な投資水準に到達する見込みが極めて少ない証券であるとみなされています。このような発行体が適時に元利金の支払を行うことができない(またはできないと認められる)ことは、ファンドが保有する証券の市場価格の変動性を増大させ、または市場価格を低下させることがあります。

※当資料に関する重要な事項について、巻末の注記を必ずご確認ください。

## 投資リスク(2/2)

**流動性リスク：** ファンドは、容易に売却または処分できないことがある資産およびデリバティブに投資することがあります。取引量の少なさ、マーケット・メーカーの不足、大きなポジションサイズまたは法律上の規制といった要因は、ファンドが取引を開始し、資産を売却し、または望ましい価格でデリバティブ・ポジションを清算する能力を制限または阻害することがあります。

### その他の留意点

ファンドの受益証券のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

- 当ファンドにおいて為替取引を行う場合、一部の通貨においては、直物為替先渡取引（NDF）を利用する場合があります。NDFの取引価格は、需給や当該通貨に対する期待等の影響により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。したがって、実際の為替市場や金利市場の動向から想定される動きとファンドの1口当たり純資産価格の動きが大きく異なることがあります。また、当該取引において、取引先リスク（取引の相手方の倒産等により取引が実行されないこと）が生じる可能性があります。
- 収益分配は管理会社が運用状況等を勘案の上、実施の可否や分配水準の決定を行いますが、当ファンドの分配金の水準は必ずしも分配期間における当ファンドの収益率を示唆するものではありません。また、分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後、その金額相当額が減少することになり、1口当たり純資産価格は下落します。

※当資料に関する重要な事項について、巻末の注記を必ずご確認ください。



月次報告書

WA バンクローン・ファンド(マルチ・カレンシー型)



お申込みメモ (SMBC日興証券株式会社でお申込みの場合) (1/3) < 販売停止中 >

詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせの上、ご確認ください。

ファンド概要

ファンド名 ウェスタン・アセット・オフショア・ファンド・シリーズ-WA バンクローン・ファンド(マルチ・カレンシー型)  
(ブラジルリアルクラス、米ドルクラス、円クラス、豪ドルクラス)

ファンド形態 ケイマン籍オープン・エンド契約型公募外国投資信託

設定日 2013年3月27日(水)

信託期間 ファンド設定日(2013年2月8日)から150年目の14日前まで

ファンド営業日 ①ニューヨーク、ロンドン、日本およびケイマン諸島において、連邦、州または地方の銀行が営業を行う日で、かつ②ニューヨーク証券取引所およびロンドン証券取引所が取引を行う日をいいます。なお、受託会社が随時ファンド営業日を定めることがあります。  
(注)ブラジルリアルクラスの買付・買戻申込についてはファンド営業日とは異なりますので下記もあわせてご覧ください。

取引日 次の日をそれぞれいいます。なお、「ファンド営業日」については、上記をご参照ください。

ブラジルリアルクラス	ファンド営業日で、かつBM&Fボベスパ取引所が取引を行う日(ブラジルにおける休日を除きます。)
米ドルクラス	ファンド営業日
円クラス	ファンド営業日
豪ドルクラス	ファンド営業日

決算日 毎年3月31日

収益分配 原則、毎月15日(当該日がファンド営業日ではない場合は、翌ファンド営業日)である「分配日」において分配を行い、「分配日」の前日(当該日がファンド営業日でない場合は、前ファンド営業日)である「基準日」において分配を宣言することが予定されています。ただし、管理会社の判断により分配を行わない場合があります。ただし、豪ドルクラスにおいて当該支払い日がメルボルンまたはシドニーの公共の銀行の休業日である場合、豪ドルクラスに関する分配金支払い日は次のファンド営業日かつメルボルンおよびシドニーにおける銀行営業日となります。

購入(申込)

< 継続申込 >

継続申込期間 最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご確認下さい。  
米国人、欧州人その他適用法令に違反することなく受益証券を取得または保有することができない者等は、受益証券の購入の申込みをすることはできません。詳細は請求目論見書の該当箇所をご参照ください。

購入(申込) 価格 登録・名義書換事務代行会社により申込みが受け付けられた取引日における1口当たり純資産価格

購入(申込) 単位 ブラジルリアルクラス、米ドルクラス、豪ドルクラス：100口以上1口単位、円クラス：10口以上1口単位

購入(申込) 代金 国内約定日(販売会社が買付注文の成立を確認した日。通常申込みの翌国内営業日)から起算して4国内営業日目までに申込金額と申込手数料をお支払いください。

換金(買戻)

換金(買戻) 申込 換金の申込みは、取引日に限り取り扱われます。  
※「取引日」については、上記をご参照ください。

換金(買戻) 価格 買戻価格は、買戻請求が受け付けられた取引日における各クラス受益証券1口当たり純資産価格

換金(買戻) 単位 1口以上1口単位

換金(買戻) 代金 国内約定日(販売会社が買戻注文の成立を確認した日。通常申込みの翌国内営業日)から起算して4国内営業日目から買戻代金をお支払いします。

※当資料に関する重要な事項について、巻末の注記を必ずご確認ください。

月次報告書

WA バンクローン・ファンド(マルチ・カレンシー型)



お申込みメモ (SMBC日興証券株式会社でお申込みの場合) (2/3) < 販売停止中 >

詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせの上、ご確認ください。

お客様の費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料(申込手数料) **3.30%(税抜3.00%)**  
 お申込手数料は、ご購入金額(お申込口数×1口当たり純資産価格)に、お申込手数料率を乗じて次のように計算されます。  
 お申込手数料(税込) = お申込口数×1口当たり純資産価格×お申込手数料率(税込)  
 例えば、円クラスを1口当たり純資産価格10,000円の時に100口ご購入いただく場合は、お申込手数料(税込) = 100口×10,000円×3.30% = 33,000円となり、合計1,033,000円をお支払いいただくこととなります。

換金手数料(買戻手数料) **ありません**

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

ファンドの運営管理費用の合計 運営管理費用の合計は、ファンドの純資産価額の**年率0.85%**および**固定費(年間27,500米ドル)**ならびにマスター・ファンドの純資産価額の**年率0.735%**(マスター・ファンドの純資産価額の水準により、この年率と異なる場合があります。)となります。その他に、「その他費用・手数料」がかかります。

ファンドの運営管理費用等(四半期ごとに後払いされます。)

- ・受託会社報酬： **ファンドについて年間7,500米ドルの固定報酬**
- ・管理事務代行会社報酬： **ファンドについて年間10,000米ドル、および当初の3クラスを超えて追加されるクラスごとに、年間10,000米ドル**
- ・販売会社報酬： **ファンドの純資産価額の年率0.80%**
- ・代行協会員報酬： **ファンドの純資産価額の年率0.05%**

投資対象とするマスター・ファンドの運営管理費用等(四半期ごとに後払いされます。)

以下の運営管理費用等はファンドにより直接支払われるものではありませんが、ファンドの投資先であるマスター・ファンドの資産より控除され、したがって、ファンドの受益証券の投資者が間接的に負担することとなります。

- ・管理会社報酬： **ファンドおよびマスター・ファンドに対する管理会社としての業務につきマスター・ファンドの純資産価額の年率0.05%**  
**ファンドおよびマスター・ファンドに対する投資運用業務につきマスター・ファンドの純資産価額の年率0.65%**
- ・受託会社報酬： **マスター・ファンドの純資産価額の年率0.01%**  
**(ただし、最低報酬年間15,000米ドル)**
- ・管理事務代行会社報酬： **マスター・ファンドの純資産価額の年率0.02%**
- ・米国保管報酬： **マスター・ファンドの純資産価額の年率0.005%**

その他の費用・手数料

その他費用として、受託会社が負担した実費、クレジット契約に係る支払利息およびコミットメント報酬、仲介手数料・仲介報酬、斡旋手数料、登録・名義書換事務代行会社報酬およびその他の類似の費用、特定の投資対象に関するデューディリジェンス報酬、その他の専門家報酬およびコンサルティング料を含む投資費用、投資報酬、ならびに印刷および郵送費用を、ファンドより間接的にご負担いただいております。以上のその他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
 ※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」をご覧ください。

適用為替に関する留意点

ファンドの買付・買戻しにあたり円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向に応じて販売会社が決定した為替レートによるものとします。詳しくは、販売会社にご確認ください。

税金

投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」をご覧ください。

※当資料に関する重要な事項について、巻末の注記を必ずご確認ください。

月次報告書

WA バンクローン・ファンド(マルチ・カレンシー型)



お申込みメモ (SMBC日興証券株式会社でお申込みの場合) (3/3) < 販売停止中 >

管理会社、その他関係法人

管理会社	ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド
投資運用会社	ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社 ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーイー・リミテッド ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーワイ・リミテッド
受託会社、管理事務代行会社	BNYメロン・ファンド・マネジメント(ケイマン)リミテッド
保管会社、副管理事務代行会社	ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン
登録・名義書換事務代行会社	ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン シンガポール支店
代行協会員	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
販売会社	SMBC日興証券株式会社 他

販売会社一覧

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
SMBC日興証券株式会社<販売停止中>	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○

ディスクレマー

© Western Asset Management Company Limited 2024. 当資料の著作権は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッドおよびその関連会社(以下「ウエスタン・アセット」という)に帰属するものであり、ウエスタン・アセットの顧客、その投資コンサルタント及びその他の当社が意図した受取人のみを対象として作成されたものです。第三者への提供はお断りいたします。当資料の内容は、秘密情報及び専有情報としてお取り扱い下さい。無断で当資料のコピーを作成することや転載することを禁じます。

過去の実績は将来の投資成果を保証するものではありません。当資料は情報の提供のみを目的としており、作成日におけるウエスタン・アセットの意見を反映したものです。ウエスタン・アセットは、ここに提供した情報が正確なものであるものと信じておりますが、それを保証するものではありません。当資料に記載の意見は、特定の有価証券の売買のオファーや勧誘を目的としたものではなく、事前の予告なく変更されることがあります。当資料に書かれた内容は、投資助言ではありません。ウエスタン・アセットの役員及び顧客は、当資料記載の有価証券を保有している可能性があります。当資料は、お客様の投資目的、経済状況或いは要望を考慮することなく作成されたものです。お客様は、当資料に基づいて投資判断をされる前に、お客様の投資目的、経済状況或いは要望に照らして、それが適切であるかどうかご検討されることをお勧めいたします。お客様の居住国において適用される法律や規制を理解し、それらを考慮する責任はお客様にあります。

※当資料に関する重要な事項について、巻末の注記を必ずご確認ください。

「本資料に関するご注意」

■本資料は本ファンドの管理会社であるウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッドが作成した説明用資料です。■本ファンドは、バンクローンなど値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、1口当たり純資産価格は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。■投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。■銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。■投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、ファンドの受益証券の価格は、ファンドに組み入れられている有価証券等の値動きのほか為替変動による影響を受けて投資元本を割り込むことがあります。これらの運用および為替相場の変動による損益は、すべて投資者の皆様はに帰属いたします。■投資信託は預貯金とは異なります。

■販売会社



商号等 SMBC日興証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号  
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、  
一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

■管理会社



商号等 ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド

# 国内籍投資信託の収益分配金に関するご留意事項

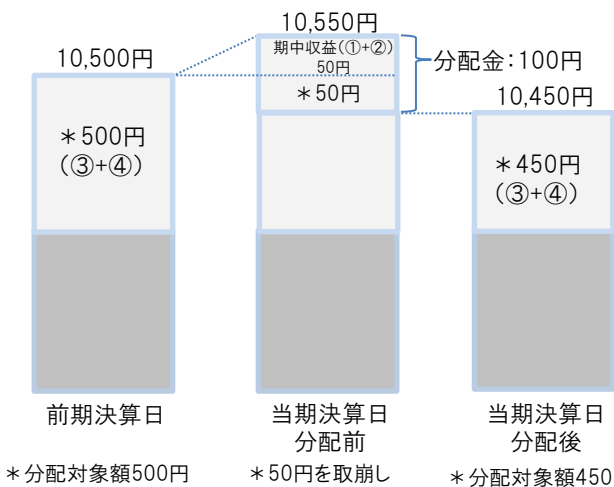
## 投資信託で分配金が支払われるイメージ

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

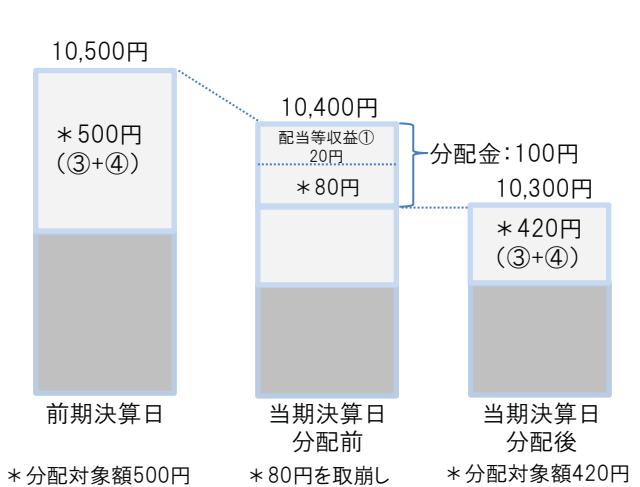


## 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

### 前期決算から基準価額が上昇した場合



### 前期決算から基準価額が下落した場合



分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

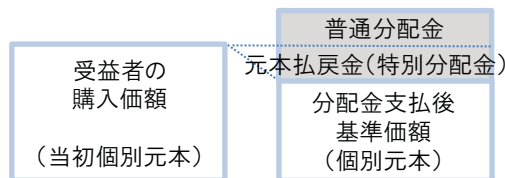
- ①配当等収益(経費控除後)    ②有価証券売買益・評価益(経費控除後)    ③分配準備積立金    ④収益調整金

上記いずれの場合も分配金受取額は同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

※上図はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

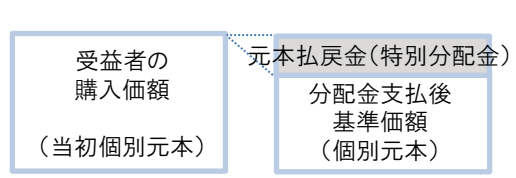
- 受益者(投資者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部またはすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



**普通分配金:** 個別元本(受益者(投資者)のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

**元本払戻金(特別分配金):** 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者(投資者)の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。



# 外国籍投資信託の分配金に関するご留意事項

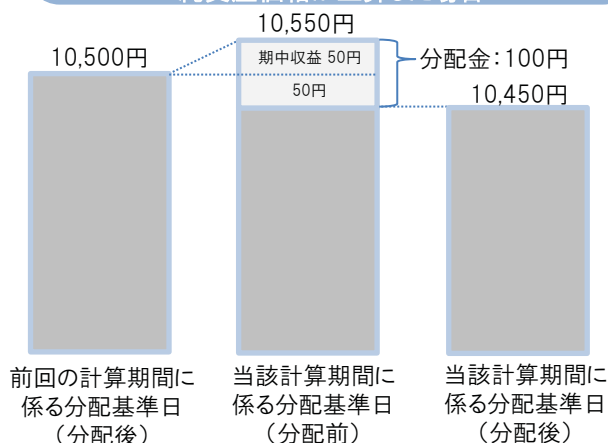
## 投資信託で分配金が支払われるイメージ

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、純資産価格は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当該計算期間に係る分配基準日(分配後)における純資産価格は、前回の計算期間に係る分配基準日(分配後)と比べて下落する事になります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間は、分配基準日(分配後)から次の分配基準日までの期間をいいます。

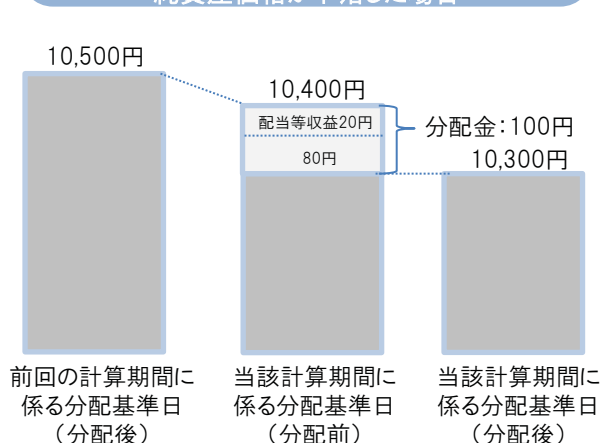


## 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前回の計算期間に係る分配基準日(分配後)から純資産価格が上昇した場合



前回の計算期間に係る分配基準日(分配後)から純資産価格が下落した場合



(注) 当該計算期間に生じた収益以外から50円を取り崩す

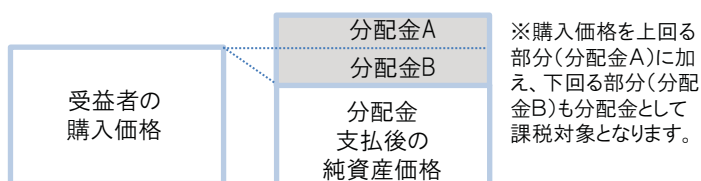
(注) 当該計算期間に生じた収益以外から80円を取り崩す

(注) 分配金は、ファンド毎の分配方針に基づき支払われます。分配方針については投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。上記いずれの場合も分配金受取額は同額ですが、純資産価格の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の純資産価格の増減額」の合計額でご判断ください。

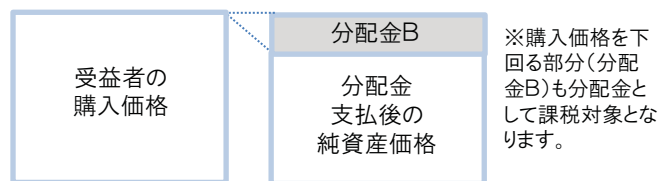
※上図はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに純資産価格について示唆、保証するものではありません。上図は、便宜上、円による表示を行っていますが、実際の分配金額や純資産価格は、各ファンドの表示通貨により表示されます。

- 受益者(投資者)のファンドの購入価格によっては、分配金の一部またはすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。この場合、当該元本の一部払戻しに相当する部分も分配課税の対象となります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より純資産価格の値上がりが小さかった場合も同様です。

### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



(注) 分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

上記はあくまでも分配金に関するご留意事項について理解を深めていただくことを目的としてSMBC日興証券が作成したものであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに純資産価格について示唆、保証するものではありません。また、分配基準日等の記載に関しては上記と異なる場合があります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

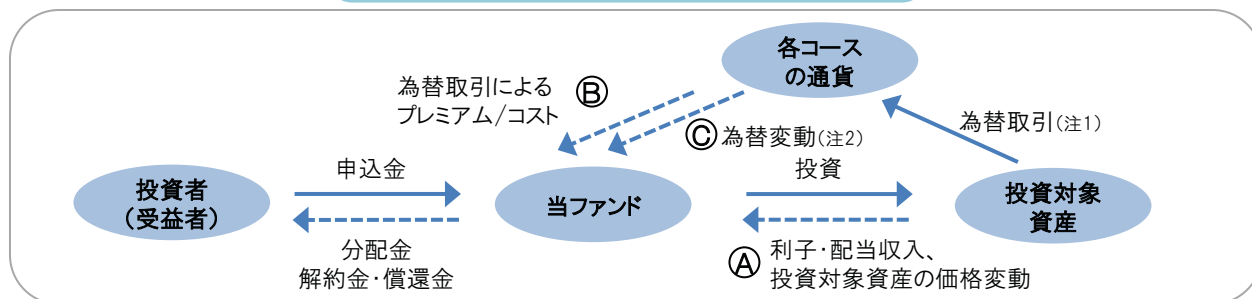
# 通貨選択型ファンドの収益に関するご留意事項



下記は、弊社取扱いの通貨選択型ファンドのうち、代表的な運用形態の収益源についてご説明したイメージ図であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。詳しくは、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(株式や債券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。
- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素( A )+ ( B )+ ( C )が挙げられます(これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。市況動向によっては、下記の通りとならない場合があります。 )。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



(注1) 各コースの通貨(取引対象通貨)が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

(注2) 円ヘッジコースは、原則として為替取引を行い、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

- ① 新興国や高金利通貨ヘッジコース/通貨バスケットコース・・・ ( A ) + ( B ) + ( C )
- ② 円ヘッジコース・・・ ( A ) + ( B ) + ( C ) (取引対象通貨は円となります)

収益の源泉	= ( A ) 利子・配当収入、投資対象資産の価格変動		+ ( B ) 為替取引によるプレミアム/コスト	+ ( C ) 為替変動	
	①の場合	②の場合			
収益を得られるケース	投資対象資産の上昇	+	プレミアム(金利差相当分の収益)の発生(短期金利)取引対象通貨 > 原資産通貨	+	為替差益の発生(取引対象通貨に対して円安)
損失やコストが発生するケース	投資対象資産の下落	+	コスト(金利差相当分の費用)の発生(短期金利)取引対象通貨 < 原資産通貨	+	為替差損の発生(取引対象通貨に対して円高)

原則として為替取引を行い、為替変動リスクの低減を図ります。

### ③ 通貨ロングショート戦略・・・ ( A ) + ( B ) + ( C )

収益の源泉	= ( A ) 利子・配当収入、投資対象資産の価格変動		+ ( B ) 為替取引によるプレミアム/コスト	+ ( C ) 為替変動	
	①の場合	②の場合			
収益を得られるケース	投資対象資産の上昇	+	プレミアム(金利差相当分の収益)の発生(短期金利)買建て通貨 > 売建て通貨	+	為替差益の発生(円安/買建て通貨高)(円高/売建て通貨安)
損失やコストが発生するケース	投資対象資産の下落	+	コスト(金利差相当分の費用)の発生(短期金利)買建て通貨 < 売建て通貨	+	為替差損の発生(円高/買建て通貨安)(円安/売建て通貨高)

(注3) 各コースの通貨(取引対象通貨)が新興国通貨の場合等は、金利差がそのまま反映されない場合があります。

(注4) 通貨選択型ファンドが実質的に投資を行う投資対象資産に関する投資リスクについては、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

(2013年3月)

上記はあくまでも通貨選択型ファンドの収益に関するご留意事項について理解を深めていただくことを目的としてSMBC日興証券が作成したものであり、将来の運用実績を示唆または保証するものではありません。収益の源泉についてはファンドにより異なるため、上記の内容と異なる場合があります。詳しくは各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。